事業者における自己評価結果(公表)

公表:令和4年4月14日

事業所名: YMCAのびのびクラブ鍛冶町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	•		プログラムに応じてスペー スを確保している。	新年度は反省を元に部屋を増やし、さらに機能性を高める計画をしている。
・体制整備	2	職員の配置数は適切である	•			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている		•		現状では特に問題はないと思われるが、肢体不自 由の利用者が参加することになると改善が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	•		プログラム終了ごとに チェックをしている。	
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげている	•			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホーム ページ等で公開している	•			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげている		•		今後は取り入れる方向で検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	•		OJT、OFFJTを活用 して随時行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成している	•		従来のものは当然のことながら、新しい理論や知識も 取り入れながら実践している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	•		同上	
適	11)	活動プログラムの立案をチームで行っている	•			
切な	12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	•			
支援	13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	•		長期休暇については、学習 面とレクレーション面の兼 ね合いを工夫している。	
の提供	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計 画を作成している	•			
	_	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担について 確認している	•			
	16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有している	•			

		ロムの士授に関レマエレノ司領なレファレな				
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを				
		徹底し、支援の検証・改善につなげている				
		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ	_			
	18	サービス計画の見直しの必要性を判断してい				
		3				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合				
		わせて支援を行っている				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議				
		にその子どもの状況に精通した最もふさわし				
		い者が参画している				
		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の				
		 交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調	_			
88	21)	整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)				
関係		を適切に行っている				
機		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合				現在、医療的ケアの必要なお子様の受入を予定し
関	(22)	は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい				ていない。
ゃ	(22)	る				
保		② 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定				
護者	23					
1目 と		こども園、児童発達支援事業所等との間で情				
o o		報共有と相互理解に努めている				現在のところ移行したケースはないが、今後該当
連	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所				ケースついては行う予定。
携		から障害福祉サービス事業所等へ移行する場				
関		合、それまでの支援内容等の情報を提供する				
係機		等している				
関	25)	児童発達支援センターや発達障害者支援セン			必要なケースについては定 期的に連絡をとっている。	
や		ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受				
保		けている				
護	26)	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害				プログラムの特性上難しい面もあるが、今後、法 人内の放課後児童クラブや体操や野外活動の利用
者と		のない子どもと活動する機会がある				も検討する。
0	27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し		_		今後、参加の方向で検討していく。
連		ている				
携		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、				
	(28)	子どもの発達の状況や課題について共通理解				
)	を持っている				
		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護			必要に応じて回数や内容を	
	29	者に対してペアレント・トレーニング等の支			考慮している。	
		援を行っている				
		運営規程、支援の内容、利用者負担等につい				
	30					
		て丁寧な説明を行っている			相談については重視して必	
	(31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に			ず行うようにしている。	
		適切に応じ、必要な助言と支援を行っている				

	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	•		コロナ禍で研修会等が開けなかった。今後はオン ラインなどを含めて検討したい。
保護者への説明っ	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している)		
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信している)		
責任	35)	個人情報に十分注意している			
等	36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている)	特性について職員間で共有 する機会をつくっている。	
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に周知しているか)		2021年度以降、内容を見直し皆様により一層 周知できるようにする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている)		
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている)		
時等の対応	(41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			
	(42)	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされている	,	保護者と綿密な情報交換を 行っている。	
	43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している)		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

別紙4

公表: 令和4年 4月 14日

事業所名: YMCAのびのびクラブ鍛冶町 保護者等数(児童数):40 回収数:24 割合:60%

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保され ているか	23	1			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2			できる限り同性の職員を最低1 名配置できるように職員配置 を見直していきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置 などバリアフリー化の配慮が適切になされて いるか	13	10	1		
適切な支	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	22	2			
援の提	5	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫され ているか	21	3			
供提供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会があるか	6	18			
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	23	1			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 ができているか	24				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等 の支援が行われているか	21	3		年度末に懇談があ ると嬉しい。	当日の活動報告のみでなく、 年度末を含めて定期的に面談 ができるようにしていきま
保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催 等により保護者同士の連携が支援されている か	10	11	3		コロナ禍で以前実施していた 勉強会は、オンラインを活用 するなど方法を見直して検討
	11)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	4			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされているか	24				
	(13)	定期的に会報やホームページ等で、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関す る自己評価の結果を子どもや保護者に対して 発信しているか	20	3	1		
	14)	個人情報に十分注意しているか	22	2			

非常時等の対応	15)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、保護者に周 知・説明されているか	15	8	1	
	(16)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	5	19		
満足	17)	子どもは通所を楽しみにしているか	24			
度	18)	事業所の支援に満足しているか	24			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。